



生体試料分析への 柔軟なアプローチ

QPSは最先端技術を結集し、低分子、タンパク質
バイオ医薬品、ワクチン、細胞・遺伝子治療薬を専門
にBioanalysis 서비스를 제공하고 있습니다.





QPSでの生体試料分析の概要

QPS는 대표적인 글로벌 CRO 기업으로서, 미국, 네덜란드, 대만 및 인도에 최첨단 Bioanalysis 시설을 보유하고 있으며, 제약 및 생명공학 산업의 발전에 따른 고객의 요구를 충족하고 있습니다. QPS는 일반적인 bio matrices (혈장, 혈청, 전혈, 대소변) 뿐만 아니라, 다양한 동물 및 임상 조직을 활용한 실험에도 풍부한 경험을 갖추고 있습니다.



약동학(PK)



면역원성 평가



약역학(PD)



약물유전체학(PGx)

분석방법의 개발

QPSは、お客様との相談の下、最も適切な技術プラットフォームで分析法を開発します。開発作業を開始する前に、分析法の要件や使用目的、例えば、以下の項目について相談いたします。検討し、話し合います

- ▶ リード化合物の最適化、候補者選定、規制に準拠した生体試料分析
- ▶ 液体クロマトグラフィー質量分析 (LC-MS/MS) 法での低分子医薬品およびその潜在的代謝物の測定
- ▶ リガンド結合法あるいはLC-MS/MS法でのペプチドやタンパク質等のバイオ医薬品の測定
- ▶ 超高速液体クロマトグラフィー-高分解能質量分析 (UHPLC-HRMS)、ハイブリダイゼーション-HPLC 蛍光、HPLC-紫外線 (UV)、あるいはハイブリダイゼーション-LBAでの核酸医薬品の測定
- ▶ RT-qPCR/qPCR法でのmRNA (生物治療薬、ウイルスまたはプラスミドベクター) の測定

方法、データ、結果を検証した後、すべての最終報告書に品質保証書を添付いたします。





バリデーション済み分析法

バリデーション済の分析法は全拠点を合わせ800種類以上にのぼり、お客様の生体試料分析および臨床試験の要望にお応えします。QPSは、準拠したロバストな生体試料分析法を確立し、規制に従ってバリデーションいたします。

規制下生体試料分析

QPSは、米国食品医薬品局やその他の規制当局が定めるGLP (Good Laboratory Practice) 基準およびガイドラインに準拠しており、申請が規制当局へ滞りなくの受け入れられるようにいたします。

細胞および遺伝子治療

遺伝子治療CROとして、QPSは2003年以来、45件以上のASO/siRNA/アプタマープログラムおよび20件以上のmRNA/ベクタープログラムで細胞および遺伝子治療薬の開発を支援してまいりました。これらの経験が急速に拡大する新規治療薬のPK、免疫原性、生体内分布、ウイルスクリアランス、ADME特性を評価するのに活かされますお客様の要求を 충족시키고 있습니다。

科学的リーダーシップと確実な成果



経験豊富な専門チームが、すべての生体試料分析試験が規制要件のもと期限内に行ないます。QPSは、高品質のデータを提供するとともに、当社の技術者への問い合わせが可能で、定期的なアップデート、お客様の要望に合わせた形式での定期報告をいたします。お問い合わせいただいた試験見積もりは公平かつ他社に負けない価格で迅速に提示いたします。

- ▶ 바이오 치료제 개발 관련업무
- ▶ 바이오 마커
- ▶ 유전체 및 세포/유전자 치료
- ▶ 중개의학
- ▶ 질량분광분석



QPSは世界各地に拠点を持つグローバルCROです



グローバルならではの利点ございます

低分子化合物、タンパク質バイオ医薬品、ワクチン、遺伝子治療薬、細胞治療薬など、創薬から臨床開発、薬事申請まで、QPSはあらゆる医薬品開発上のニーズに応える生体試料分析 サービスを提供します。



CUSTOM-BUILT RESEARCH™

시간은 약물 개발의 기간입니다.

지금 QPS 비즈니스 개발 팀에 문의해 주세요!

전화 +1 512 350 2827 이메일 infobd@qps.com